

あ と が き

当法人は、昭和44年に大阪府により設立されました。当時は知的障がい児者支援が量的にも質的にも不足しており、大阪府は大規模入所施設の大阪府立金剛コロニーを開設しました。当法人は金剛コロニーを受託運営し利用者を受け入れると共に、さまざまな先駆的取り組みや大阪府の知的障がい者事業を実践し、学んだノウハウを発信し大阪府の知的障がい児者支援に寄与することを自らの使命と考え、今日まで運営してまいりました。

指定管理者制度の導入により自立運営が求められるとともに、障がい者福祉政策の大きな変遷への対応も求められるなど、当法人を取り巻く環境はたいへん厳しいものとなっています。現在さまざまな改革にとりこんでいますが、改革の基礎はよりよいサービスの提供であることから、実践を通して学ぶ、そして発信していくという培ってきた姿勢は、ますます重要となっています。

今回の紀要には、法人の運営基本方針にある「利用者本位の支援」のために欠かせないコミュニケーション支援の取り組みからの報告、利用者の生活のQOLの向上の取り組みからの報告等をさせていただきました。いずれも、長く取り組んできたテーマです。

40年前に金剛コロニーという入所施設で始まった実践は、利用者のニーズに応えるなかでさまざまな形に進化していています。重症心身障害児施設すくよかでの障がい者医療ケアや発達障がい支援、特別養護老人ホームかんなびのさとの高齢知的障がい者介護、入所施設からの地域生活への移行支援、地域の拠点施設での地域生活支援や障がい者就労支援、自閉症児支援センターの小児発達障がい療育など幅広く広がっています。今号から、紀要は金剛コロニーの紀要の精神を踏まえつつ、大阪府障害者福祉事業団全体の障がい者支援の取り組みの紀要といたしました。今後も、多くの御講評をいただき、より研鑽につとめたいと思います。よろしく願いいたします。

研修企画委員長 久保田全孝